

京柔整会報

機関誌 141号



巻頭言

副会長 柴田 宗宣

特集

長尾 淳彦会長に聞く「補助金事業について」

トピック

大西 辰博名誉会長 藍綬褒章を受章

公益社団法人 京都府柔道整復師会

平成28年10月20日

京都医健専門学校 柔道整復科

3
年制

I部 午前集中コース (9:20~12:30)
I部 午後集中コース (13:20~16:30)
II部 [夜間] (18:20~21:30)

【柔道整復師】

京都医健は全国に約70校の姉妹校を有する滋慶学園グループの1校です。そのうち8校が柔道整復師を養成しております。姉妹校とのネットワークを活かし、国家試験対策を入学前から行っています。また、e-learningを用いてパソコンや携帯でいつでも学習ができます。万が一、国家試験が不合格になった場合は授業料無料でサポートします。



京都医健は、「既修得単位認定制度」・「専門実践教育訓練給付金制度」を設けています。

あなたの
学費を
サポート!!

あなたのキャリアを
最大限に活かす!

既修得単位 認定制度

大学・短期大学・専門学校の専門課程において既に履修された授業科目(基礎科目・専門基礎科目)で、本校のカリキュラムと同一科目もしくは授業内容が同一の場合、単位を認定し、その科目の履修を免除します。また認定された科目に対し授業料を一部免除します。さらに、学校長が判断した場合、授業科目が同一でない場合も単位を認定することがあります。

既修得単位認定制度で **履修単位の免除** **授業料の免除** を受けることができます

キャリア
アップを
国が支援!!

平成28年4月入学対象者

専門実践 教育訓練 給付金制度

対象 柔道整復科・鍼灸科・言語聴覚科・社会福祉科

専門学校の職業実践専門課程で給付制度を行っている学校及び厚生労働大臣が専門的・実践的な教育訓練として指定した講座(専門実践教育訓練)を受講した場合に、給付金の給付割合の引上げや追加支給があります。

最大144万円給付/

鍼灸科 3年制 I部[昼間]午前集中コース I部[昼間]午後集中コース II部[夜間]	理学療法科 4年制 I部[昼間] II部[夜間]	作業療法科 4年制 I部[昼間]	視能訓練科 3年制 I部[昼間]	言語聴覚科 2年制 I部[昼間] ※大卒者対象	社会福祉科 1年制 II部[夜間] ※大卒者等対象 精神保健福祉科 1年制 II部[夜間] ※大卒者等対象 2017年4月設置 (認可申請中)	スポーツ科学科 2年制 アスレティックトレーナーコース スポーツトレーナーコース スポーツインストラクターコース スポーツ&ビューティーコース スポーツメディカルコース スポーツ福祉コース	トータルビューティー科 2年制 エステティックコース メイクアップコース ネイリストコース
---	---	--	--	--	--	---	---

※ご不明な点は、オープンキャンパスまたはお電話でお問い合わせ下さい。

スポーツ・医療・福祉・ビューティーが学べる

学校法人 滋慶京都学園 厚生労働大臣指定校
 日本協公認アスレティックトレーナー免除適応コース承認校

医健KEN 京都医健専門学校

0120-448-808

〒604-8203 京都市中京区三条通室町西入衣棚町51-2

メール info@kyoto-iken.ac.jp
 携帯サイト http://kyoto-iken.ac.jp
 WEBサイト http://www.kyoto-iken.ac.jp



携帯サイト
 携帯・PHSから
 QRコードで
 簡単アクセス!

京都医健 検索

目 次

❖ 表紙の写真	1
🍃 巻頭言	副会長 柴田宗宜 2
🌸 特集「長尾淳彦会長に聞く～補助金事業について～」	4
🌸 大西辰博前会長 藍綬褒章を受章	7
🌸 京都府柔道整復師会会館を思い	8
🌸 学術部主催 第2回超音波セミナー	9
🌸 機能訓練指導員フォローアップ講習会	10
🌸 臨時保険講習会	11
🌸 公益社団法人京都府柔道整復師会・京都医健専門学校合同勉強会	12
🌸 平成28年 第42回近畿ブロック柔道大会 京都大会	13
🌸 機能訓練指導に係る意見交換会	16
🌸 京都府総合防災訓練に参加して	救急救護隊 兼田旭紘 16
🌸 救護活動報告	
• 夏季京都府柔道整復師・養成学校特別昇段審査会	第一分隊 安田優二 17
• 亀岡市柔道連盟昇段審査会・第65回亀岡市平和祭市民柔道大会	第四分隊 服部博幸 17
• 第63回京都市ソフトボール大会・第26回京都市壮年ソフトボール大会	第一分隊 大西裕二 18
• 平成28年度 第42回近畿ブロック柔道大会	第二分隊 岡村優輝 18
• 第52回京都市バレーボール祭	第三分隊 松本吉弘 19
🍃 支部だより	
• 北丹支部 研修旅行報告	通信員 有留孝信 19
• 下京・南支部総会	通信員 金 錫奎 20
• 西山会開催	通信員 久保井 康二 20
• 中丹会新旧支部長慰労会・歓迎会	通信員 山根文彦 21
• 北、上、左京支部 合同支部会	通信員 田鍋雅裕 21
🍃 会員の動静	22
❖ 掲示板コーナー	22
🍃 編集後記	23

表紙の写真

「会館5階北側ベランダより北東方向を望む」

大和大路五条の本会会館5階から北東方向を望むと東山の山並や清水寺、霊山観音などが垣間見えて美しい。

会館竣工は昭和59年（1984年）5月31日、その日から32年を過ぎ、諸事情のため、当会はこの本拠地を離れることになったが、現会員や先人たちの心に残り続けるであろう。

巻頭言



副会長 柴田宗宣

会館修理費に多額の費用が必要になることが判明したことが発端となりました。会館移転問題は、平成28年6月12日の定時総会にて停止条件解除（仮事務所への移転）を承認していただいたことで正式に会館を売却することが決定し、新しい会館の建設がより具体的になりました。現在の予定では平成28年11月末までに千本松原の仮事務所に移転いたします。そして早ければ1年、遅くとも3年の間には新会館を建設したいと考えております。その新京都府柔道整復師会館建設の基本コンセプトは、いかに会員の先生方に経済的負担を掛けないことです。平成26年度、日整が把握した経営実態調査報告によりますとレセプト1枚当たりの金額は平成22年度では8,346円でしたが、平成25年度は7,661円になりました。また1人当たりの年収も平成22年度は10,283,144円でしたが平成25年度は8,615,883円に減少しております。現会館が建設された昭和59年当時の右肩上がりの時代でしたら建設費用分を会員の先生方にご負担していただくといった選択肢もありましたが、決してそのようなことが許されるといった時代ではございません。新会館建設は売却して得られた資金の中で全ての費用を賄わなければならないのは当然のことですし、また会館の管理維持コストも出来るだけ低額になるよう考慮しなければならないと考えております。

さて、平成27年4月から始動しました新執行部のテーマは「柔道整復師の信頼の回復」でした。今年に入り念願でありました協定の見直しが現実のものとなることが現実となり、特に施術管理者の要件強化はチェーン展開している慰安を目的とした接骨院やコンプライアンスの無い整骨院の歯止めになると考えます。また週に3日も学校に行けば必要条件を満たす柔道整復師養成施設のカリキュラムに対して厚労省の「柔道整復師学校養成施設カリキュラム等改善検討会」にて大幅な改善案が検討されております。この改善検討会には本会の長尾淳彦会長が委員として出席されています。これら一連の信頼回復のための改革は、公益社団法人であるからこそ成し得た成果と考えております。また、公益社団法人であるからこそ今年も京都府から補助金をいただき平成28年度京都府医療従事者の資質向上の研修事業「在宅で療養する運動器疾患を有する者に対し柔道整復術を実施するための研修事業」という少し長いタイトルの補助金事業を開催いたします。これは我々の業界では本会だけが開催する研修事業です。地域包括ケアシステムに機能訓練指導員として参入するのではなく、柔道整復師として地域包括ケアシステムに参入ための担保となる研修事業です。それは単に京都府から補助金をいただき研修事業費用が軽減されたというものだけではありません。我々の業界が医療関係だけでなく、社会全体に貢献して信頼回復する大きなチャンスと信じております。

京都府柔道整復師会も公益社団法人に移行して4年目に入りました。やっと公益社団法人としてもメリットが目に見える形になって来たように感じます。そのメリットを堅持するには我々全員がコンプライアンスを持って日々の施術に携わることと信じております。

今後とも、本会事業にご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

第67回京都接骨学会・保険講習会

日時：平成28年11月13日（日）13：00～16：00

会場：京都府柔道整復師会館5F「大会議室」

「平成28年 京都府医療従事者の資質向上研修事業」の修了書授与条件は、京都接骨学会の受講が必須となりますので、必ずご出席下さい。

長尾淳彦会長に聞く ～補助金事業について～

京都市社会福祉協議会が行う「福祉の絆づくり事業」において本会が助成団体・施設に選ばれ、助成金で「筋力アップ体操と福祉相談のサロン」が平成27年11月、平成28年3月に本会会館で行われました。また、平成28年2月には、京都府から補助金をいただき京都府健康福祉部医療課 平成27年度在宅療養等従事者確保支援事業の一環として「柔道整復師の認知症対応力向上研修会」が行われました。

平成28年度も公的補助金を受け講習・研修会が展開されます（日程は後に記載しております）。長尾淳彦先生が本会会長に就任され、公的補助金・助成金を活用して事業や講習会が行われるようになりました。通常総会や支部会等で、補助金事業の大切さや必要性の説明を受けていますが、内容とお考えを今一度お聞かせいただこうと思います。



長尾淳彦会長

・補助金・助成金を受けて事業を行う必要性

京都府や京都市の補助金や助成金事業に公募出来るのは、京都府や京都市が認める団体組織です。その事業は税金が使われるのですから成果が府民・市民に還元されなければなりません。よって、事業計画とそれに係る予算はもちろんのこと実施後の報告も厳しくチェックされます。独りよがりな計画や予算作成では採択されません。幸いにして本会は公募も出来、採択もしていただきました。このことは、本会が府・市に認められた団体であり、その事業内容も府・市民に有益であるという証です。

ボランティアや無償での活動の大切さは理解していますが、公的資金を使つての事業への参画は相当の覚悟と決断が必要です。先にも申し上げましたが事業の成果を府民・市民に還元しなければなりません。それも業界全体としてです。

国・府・市町村の医療・介護・福祉などに係る総合計画に「柔道整復」を積極的に組み込み、「柔道整復師」を人材資源として活用するためには行政が目指す方向性に沿った事業内容を示し、柔道整復師の認知度を高めなければなりません。本会がモデルケースとなり、他の都道府県でも同様の補助金・助成金を受けて国や自治体の総合計画に沿った事業を行っていけば、柔道整復師の認知度は飛躍的に高まります。

・長尾会長のスローガン「信頼の回復」との関係

「接骨院」「柔道整復師」の公的医療保険（療養費）に対する支払側である「保険者」の評価は最悪です。保険者自らが患者への受診調査をされているところもありますが、ほとんどが大手3社の患者調査会社に外部委託をされています。3～4か月前の受診の調査であるから患者回答に若干の齟齬が出るのは仕方ないことです。ただ、長期・頻回・高額・多部位と指摘されても、そ

うなる理由を説明もせず、漫然と同様な傾向の申請書を提出される柔道整復師がいることも事実です。

公益社団法人会員であるか否かなどは「保険者」にとっては関係ないことで「柔道整復師=悪」という構図が出来上がっています。

一度「信頼」を失ったものが再び「信頼」を回復するには相当な時間と努力が必要です。ただ、「信頼回復」の一步を踏み出さなければなりません。現執行部は、ひとつひとつの案件を相互理解の上で処理する作業から始めました。現在も継続してこつこつ「支払側である保険者」と直接会って話し合っています。その中で京都府や京都市の補助金や助成金事業の話もして、公募出来るのは、京都府や京都市が認める団体組織であり、事業の内容も説明していくと「柔道整復師」と「公益社団法人 京都府柔道整復師会」を理解していただき、徐々にではあるが「信頼の回復」の兆しが見られてきています。

府や市町村と各保険者に「公益社団法人 京都府柔道整復師会」の存在と「信頼回復」への取り組みを会員の皆さんと一緒にアピールしていかなければなりません。

執行部のみで出来ることではなく公益社団法人のみが出来ることでもなく「柔道整復師」全員で行わなくてはならない「信頼の回復」だと思います。

平成28年度

京都府医療従事者の資質向上研修

〔京都接骨学会〕

日時：平成 28 年 11 月 13 日(日) 13:00～14:30

会場：京都府柔道整復師会館 5 階「大会議室」

〔舞鶴会場〕

日時：平成 28 年 12 月 18 日(日) 10:00～15:00

会場：西駅交流センター 3 階「ホール」(西舞鶴駅)

〔京都テルサ会場〕

日時：平成 29 年 2 月 19 日(日) 13:00～17:00

会場：京都テルサ東館 2 階「セミナー室」

◎修了証授与条件

京都接骨学会(受講必須)と舞鶴会場か京都テルサ会場のどちらかに出席されることにより修了証が授与されます。(舞鶴会場と京都テルサ会場ともに同じ研修内容です)

※京都接骨学会が受講必須と成りますので、〔京都接骨学会・保険講習会〕平成 28 年 11 月 13 日(日)には必ずご出席下さい。

※内容は平成 28 年 10 月 1 日時点の情報ですので、本会からのお知らせ等でご確認下さい。

・京都府柔道整復師会、柔道整復師の展望

今年度中に「京都府」「京都府警察本部」と本会との協定を結ぶ予定です。

「安心安全サポート事業所」「特殊詐欺予防」「高齢者や幼児虐待予防」「認知症早期発見」などポータルサービス機能を持ち合わせた地域のゲートキーパーの役目を「接骨院・整骨院」が果たそうという構想の上に立っています。

ポータルサービス機能を持ち合わせた地域のゲートキーパーの役目とは、「ここ（接骨院・整骨院）に行けば自分（府民・住民）が果たしたい目的の地がわかる」拠点です。

接骨院・整骨院の本来の業務である、骨折・脱臼・捻挫・打撲・挫傷などによる運動器の外傷に対する機能回復だけでなく、常に患者さんと1対1で施術を行い何でも相談を受け、患者さんの少しの変化にも気付ける柔道整復師の特徴を活かしたいと思っています。

高齢者の運転免許所の返納や高齢者や子供の虐待の発見、オレオレ詐欺などに代表される特殊詐欺の防止や認知症の早期発見などにも対応できる、地域に根差した接骨院・整骨院が今後、地域包括ケアシステムが本格的に稼働した時に、その職種特性が活かされ生き残ると思っています。数十年前の先人たちが地域に根差した接骨院・整骨院は、まさにこのような機能を持っていたと思います。再構築です。

「京都府」「京都府警察本部」にも柔道整復師のことを十分理解してもらい、協調して府民の安全をサポートし、社会的弱者である高齢者や子供たちを見守れるようにしたいと思っています。そのためには柔道整復師の養成施設時の勉強だけでは対応出来ません。ゲートキーパーとしての役割を果たす様々な研修会や講習会を京都府や京都市と協議して企画していくつもりです。

もちろん、柔道整復師業務の根本である「骨折」「脱臼」の整復・固定についても保存療法と手術との鑑別能力を高め、医連携のもと、理論と技術の研鑽を行っていきます。

この事業は、本会会員だけでなく京都府の柔道整復師にも受講していただき、柔道整復師の質の向上を果たしていきたいと思っています。ご理解の上、ご協力の程お願いいたします。

後記

この事業は時代に順応できるように、柔道整復師における業務拡大の活路を担う勉強会と考えております。そして経験値が上がることにより、国民に対して柔道整復師の質が担保となり、柔道整復師業務の拡大となると思われます。

まずは、柔道整復師界のイニシアチブを公益社団法人京都府柔道整復師会が取り、業界全体に波及していく事となるでしょう。柔道整復師が後世に引き継ぐ一つの礎として、会員が団結することが大切と思いました。長尾会長、ありがとうございました。

(広報部長 中川稔貴)

大西辰博名誉会長 藍綬褒章を受章

平成 28 年春の褒章で、本会の大西辰博名誉会長が「藍綬褒章」を受章されました。

長年の地道なご努力が評価されての受章です。本会のみならず柔道整復師の誇りと栄誉です。おめでとうございます。

柔道整復師業界では公益社団法人 北海道柔道整復師会会長 萩原正和先生も同じく、藍綬褒章を受章されました。

※藍綬褒章（らんじゅほうしょう）とは、医療・社会福祉などの分野で公衆の利益を興した者、または民生・児童委員などの事務に尽力した方を対象に閣議で決定されて発令されます。

参照：内閣府 HP、厚生労働省 HP より



協会の本館



協会野の荘園会館

京都府柔道整復師会会館を思い

いよいよ京都府柔道整復師会会館が仮事務所に移転するにあたり、現会館で京柔整会報を発刊するのが最後となりました。この機に文章と写真を残そうと思い執筆に踏み切りました。少しのお時間を下さり、お読みください。

昭和39年中京区西ノ京にて本会最初の会館が建設せられ、それが全国的に会館建設の先駆けとなりました。そして昭和59年、旧東山福祉事務所跡地に京都府柔道整復師会会館(旧京都接骨師会館)が移転されて今年で32年が経ちました。当時の広報部長 山崎良三先生は京柔整会館記念誌のあとがきにて「ふとん着て、寝たる姿や東山」の三十六峰を背景に、京の都を東西に貫く五条通りに面して会館が堂々と竣工されました」と記されています。現会館で最後の京柔整会報を発刊するにあたり、表紙写真は会館5階から東山に向けて撮った写真を掲載させていただきました。

当時の建設実行委員長 原健先生の言葉では「新会館を拠点として、日本古来の柔道整復術の高揚と大きく飛躍していく時代の波に遅れることなく、柔整師としての業務を通じて地域の社会福祉向上に貢献することを誓い会館建設をされた」(抜粋文)と記されています。そして、会館設立当時の片川吉雄会長の挨拶の文中では、新会館の場所の決定に3年、建築完成まで1年を要する大事業とありました。

しかし、その会館も老朽化の波に飲み込まれようとしています。柴田宗宣副会長の巻頭言にもありましたが、今後の維持費・補修に莫大な費用が見込まれています。会館の稼働率なども考慮しましてスマートで、シンプルな機能性のある会館に替える必要性が出てきました。

今年の総会にて会館移転が可決され、売買の契約の引き渡し条件で仮事務所に移転しますが、引き続き委員会にて移転に向けて検討されています。

私が入会した平成元年には、現会館でしたので建設準備に携わられた方々の苦労は見えていませんが、先人の苦労は推して知る所でございます。今後、新会館移転も皆様の記憶に残る、後世の柔道整復師に残す大事業となると思います。皆様のご理解とご協力を切に希望しています。

参考：京都柔整会館記念誌

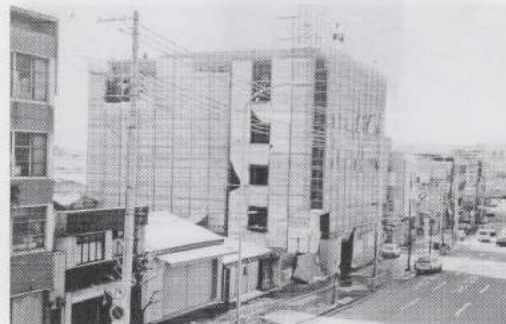
(広報部長 中川稔貴)



前会館 (京都府接骨師会館)



現会館建設竣工式



建設中の現会館



完成間近の現会館



現在の会館

超音波画像観察装置 セミナー開催

平成28年7月30日(土)、午後3時30分から本会主催、株式会社 エス・エス・ビーの協賛で超音波画像観察装置セミナーが開催されました。今回のセミナー参加者は31名でした。定刻になり、田中弘昭学術副部長の司会で始まり、まず、長尾淳彦会長の挨拶がありました。内容はコンプライアンスの遵守を念頭に超音波画像装置について学び、日常業務に役立てていただきたいとのことでした。次に本日の講師、大阪の坂本鍼灸整骨院院長、坂本哲聖先生のご紹介がありました。坂本先生は日本ハンドボール協会強化部医事専門委員会トレーナー部会近畿ブロック委員、関西大学体育会ハンドボール部メディカルトレーナー、日本超音波軟骨組織学会評議員・認定講師と多彩な活動に取り組んでおられます。

セミナーの前半は座学としてプロジェクターでエコーの一般的な内容や運動器系組織の描出について解説が行われ、今回のテーマである足関節について話は進み、実習内容である前距腓靭帯、二分靭帯などについてトレーナー現場での写真も交えてお話されました。少し休憩をはさんで実習に移りました。実習は坂本講師と学術部の先生方で2台の観察装置を使って、参加者一人一人が器機を操作して前距腓靭帯、二分靭帯の描出についてプローブワークを学びました。モデルによって靭帯の状況が違い、興味深く活きた実習となりました。

次に質疑応答に移りました。内容を概略のみ簡単に記します。

質問1：中学生の外果部骨折について描出できるでしょうか。

回答1：プローブが当てられて、エコーの当たる範囲では描出可能ですが腓骨の裏側などは見えません。

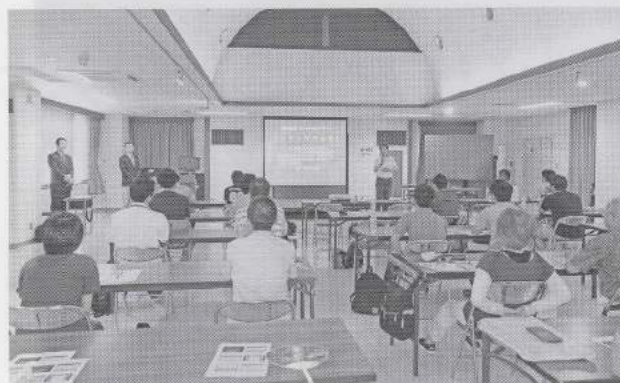
質問2：野球選手の肘の描出について教えてください。

回答2：内側上顆、外側上顆周囲の不整画像によって野球肘や内側上顆剥離骨折などの状態を観察可能であることを実際に見せながら解説されました。

本会での超音波画像観察装置関連セミナーは今年に入って3回目となります。1回目は3月13日の京都接骨学会における株式会社エス・エス・ビー 柳澤昭一氏によるもので、2回目は5月21日に同じく柳澤氏による肘関節をメインにしたセミナーが開催されています。(広報部 安田優二)



坂本哲聖講師



長尾淳彦会長挨拶



実習風景

「介護予防・機能訓練指導員認定柔道 整復師フォローアップ講習会」開催

平成 28 年 9 月 11 日（日）午後 1 時より標記の講習会が会館 5 階大会議室において開催されました。参加者は 65 名でした。講習会は 2 限構成で、講師の先生とテーマを下記に記します。

講習 1

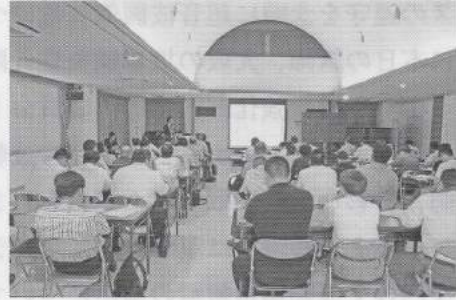
講師：公益社団法人 日本柔道整復師会 保険部介護対策課
公益社団法人 奈良県柔道整復師会会長 川口貴弘先生

テーマ：「介護保険制度における柔道整復師の役割」

講習 2

講師：京都市伏見地域介護予防推進センター 理学療法士
梅居洋史先生

テーマ：「運動器の機能向上プログラムの内容および評価について」



会場風景 後方より

定刻になり、井村亮太事業部員の司会により始まり、柴田宗宣副会長より開会挨拶がありました。内容は「本日の講習会は資格維持のためだけでなく資質向上を目的としており、介護分野におけるマンパワーとしても重要で、業務の研鑽によって柔道整復師の業務拡大にもつながるので、今後開催される補助金事業と併せてしっかりと習得していただきたい。」とのことでした。次に講師紹介が中村英弘事業部長より行われ、講習が始まりました。

川口貴弘先生の講習はパワーポイントのデータをプロジェクターでスクリーンに映しながら進められました。内容は介護保険制度を取り巻く状況、介護保険制度の仕組み、介護サービスや高齢者福祉サービス、地域包括ケアシステムについてなどで、そこから柔道整復師がどのように関わっていくことができるかについても解説されました。それには市町村別のアプローチが必要で、接骨院として機能訓練指導員として、通所、訪問などのサービスへの参入の可能性などについて一般的な事項と共にお話されました。最後に認知症診断としての長谷川式簡易知能評価スケールについて解説があり、終了しました。

休憩を挟み 2 限目に移りました。講師紹介が中村英弘事業部長より行われ、講習に入りました。梅居洋史先生の講習もパワーポイントのデータをプロジェクターでスクリーンに映しながら進められました。内容は介護予防事業について、一次予防、二次予防について、健康行動の定着について、運動やプログラムの実施上の留意点、参加除外基準、事前・事後評価、参加者の目標例などについて解説されました。伏見地域介護予防推進センターでの活動を基にした運動プログラムの実施（家庭内での体操、運動を含む）で、対象者 178 人（男性 42 人、女性 136 人）について、いくつかの体力測定の結果から有意な改善がみられたというデータについても解説がありました。これは平成 27 年 3 月の第 65 回京都接骨学会で伏見支部、戸川和孝会員が発表された内容とのことでした。あと、内側広筋や Extension Lag（膝の伸展不全）などについての解説も行われました。

その後、長尾淳彦会長より挨拶がありました。内容は料金改定について、会館移転の経緯について、補助金事業として『在宅で療養する運動器疾患を有する者に対し柔道整復術を実施するための研修事業』の件などについてでした。この訪問施術を行う研修としての補助金事業については 11 月 13 日の第 67 回京都接骨学会、12 月 18 日の舞鶴での講習会、来年 2 月 19 日の京都テルサ会場での講習会が実施予定であり、受講者には修了証を授与することとされたこと、授与条件として第 67 回京都接骨学会の参加は必須、あと 2 つの講習はどちらかの出席をすることとされました。最後に林啓史副会長より「今後、開催される補助金事業は『平成 28 年度京都府医療従事者資質向上研修事業』の一環であり、必ず参加されるようお願いいたします。」との言葉を以って講習会は終了しました。



梅居洋史講師



川口貴弘講師

臨時保険講習会

平成28年9月24日(土)午後4時より本会5階大会議室にて臨時保険講習会が開催された。定刻になって、ほぼ会場は一杯となり、中田康人総務部長の司会により開始、進行された。要旨は次のとおりである。

◇会長挨拶 長尾淳彦会長

柔道整復師養成施設でのカリキュラムについて質の向上を目指し、臨床実習の実施が行われる予定である。その実施に当たり、認定施術所を設ける計画が進行中である。既に告知されているが、地域包括ケアシステムへの参入を目指し、柔道整復師として訪問施術を行えるよう、補助金による講習会が開催されるので参加していただきたい。

◇柔道整復療養費算定基準の改定について 林啓史副会長

平成28年10月1日施術分から柔道整復療養費が改定されることになり、その内容についてプロジェクターとプリントを用いて解説がなされた。

◇会館移転計画実行委員会報告 柴田宗宣副会長

平成28年12月より仮事務所に本会業務を移すことについて、詳しい場所や周辺立地の様子、内装関連等について報告された。

◇仮事務所への移転に伴う申請書の提出方法について 中村英弘保険副部長

仮事務所における申請書の提出について、提出方法や注意点などを解説された。



会場風景



柴田宗宣副会長



林啓史副会長



中村英弘保険副部長

公益社団法人 京都府柔道整復師会 ・ 京都医健専門学校合同勉強会

平成 28 年 9 月 18 日(日)京都医健専門学校にて公益社団法人京都府柔道整復師会と京都医健専門学校との合同勉強会が午後 1 時より行われました。

田中弘昭学術副部長の司会で始まり、京都医健専門学校竹本雅信事務局長のご挨拶、長尾淳彦会長のご挨拶が行われ、柔道整復師会の参加者には学校案内、京都医健の在校生には中田康人総務部長により、日本柔道整復師会の業界説明、柔道整復師会への入会案内が行われました。その後、10 分間の休憩を挟み、本題の「臨床中によく遭遇する膝内側部痛」において見落としはいけない筋や靭帯を簡単に触り分ける方法の講義が午後 2 時より行われた。

講師には伊賀リハビリライフサポート(株)代表、ロコモペイングループ共同代表体表解剖学研究会講師、伊賀接骨院 堀 智秋院長にご講義いただきました。

膝内側部痛は、スポーツ外傷だけでなく高齢者でも目にする事の多い障害の 1 つであります。そこで、子供から高齢者までの幅広い年齢層の膝内側部痛に關与する「筋や靭帯の解剖学的情報」×「触察法」そして「臨床に役立つ損傷メカニズム」についてお話されました。

変形性膝関節症の発生率は 50 歳以上の変形性膝関節症の発生割合女性で約 7 割、男性で約 5 割の方が変形性膝関節症を抱えているというデータが出ています。これらの症状が出てきても進行を予防することは可能であると指摘されていますが、漠然とした治療を行うのではなく、経過を観察できた上で施術を行う事が重要であるといわれています。

実際に痛みが出ている部位は、関節裂隙：約 7 割 鷲足部：約 6 割(複合しているケースがある為このような割合になっています。)の順に痛みが多いとされています。

次に内側側副靭帯の解剖、靭帯の説明が行われ今回は内側側副靭帯に焦点を当てて解説されました。実は 2 つの線維が複合して出来ている靭帯なのですが、まとめると内側側副靭帯：縦層線維(浅層)と斜走線維(深層)の複合により構成。縦走線維と斜走線維の間には滑液包が存在する。付着部：縦走線維は大腿部内側上顆に付着。斜走線維は半膜様筋に付着 縦走線維、斜走線維共に半月板とつながる。そして、膝蓋骨を安定させるのに重要な内側膝蓋大腿靭帯の位置を説明して頂きました。

それらの解剖的な説明の後、参加者が二人一組になり、マーカーを使用して実際の位置関係を触察するワークが行われました。実際に講師が参加者の触察を見ながら、再度確認して回られました。

最後に超音波での観察をデモンストレーションして頂き、質疑応答にて午後 4 時に終了しました。

超音波での観察は全体像として見る事は難しいのが現実なので、ピンポイントで確認の為の利用が良いと言われていました。その為にも触察技術が重要になってくるので今回のような講義は貴重な時間だったと私個人は感じております。我々、開業している立場になると改めてこういった解剖の勉強をする機会も減ってきますので、諸先生方も確認をする意味でも参加されることをお勧めします。

(広報部 梅谷慎二)



堀 智秋講師



解説をしている講師と参加者

平成28年度 第42回近畿ブロック柔道大会

平成28年7月31日(日)午前10時より京都市武道センターにおいて第42回近畿ブロック柔道大会が開催されました。

定刻より開会式が始まり、川口貴弘大会副会長の開会宣言、国歌斉唱、長尾淳彦大会会長の挨拶、火箱保之京都府柔道連盟会長の挨拶と順次すすみ、山崎立実審判長から試合上の注意を説明され、湊谷知幹選手が選手宣誓を行いました。

まずは少年形演武が行われました。形の演武は投の形で行われ、3組の演武が行われました。京都府からは、おとくにクラブ柔道教室の今井遼河選手(取・5年生)と渡邊晴仁選手(受・6年生)が出場しました。

次いで紅白試合が行われました。第1試合場、第2試合場にわかれ、それぞれ10試合が行われました。京都からは4名の選手が出場しました。

年代別選手権は30代の部と50代の部が第1試合場で行われ、40代の部が第2試合場で行われました。

年代別選手権の決勝戦を行う前に、本会会員でもある近藤桂市七段と長井隆尚六段による古式の形演武が行われました。研ぎ澄まされた武道の神髄に観客からは真剣な眼差しが向けられました。

年代別選手権は10月に行われる日整全国柔道大会の予選を兼ねており、各府県を代表している選手に観客から大きな声援が送られ、活気あふれる柔道大会になりました。

結果は以下の通りです。

20歳代

優勝 ガンバートル・フデレムンフ(京都府)
準優勝 白川達也(兵庫県)

30歳代

優勝 矢根和紀(兵庫県)
準優勝 兼田旭紘(京都府)
3位 磯田和伸(兵庫県)
亀野真吾(兵庫県)

40歳代

優勝 湊谷知幹(京都府)
準優勝 長田庄玄(奈良県)
3位 橋爪宏治(滋賀県)
坊晃(兵庫県)

50歳代

優勝 川口雅也(兵庫県)
準優勝 黒田善治(和歌山県)
3位 大矢八平(兵庫県)
雑賀昌盛(兵庫県)



近畿ブロック代表選手団

近畿ブロック代表選手

20歳代 ガンバートル・フデレムンフ(京都府)
30歳代 矢根和紀(兵庫県)
兼田旭紘(京都府)
40歳代 湊谷知幹(京都府)
50歳代 川口雅也(兵庫県)

第1試合場

番号	府県	氏名	段位	年齢	試合結果	府県	氏名	段位	年齢
1	兵	白川 達也	弐	30	○	滋	永井 裕之	四	36
2	奈	勝良 憲浩	四	37	○有	和	西岡 正人	四	39
3	兵	池田 裕昭	五	40	○	滋	辻 宏明	弐	39
4	和	横貫 博崇	三	41	○	奈	西畑 弘毅	参	45
5	京	大角 康之	六	46	×	和	栗本 建也	参	47
6	兵	澤村誠四郎	五	49	○有	和	田伏 隆	四	48
7	奈	木村 友慈	五	53	×	和	黒田 善治	六	56
8	兵	佐々木良弘	五	65	×	京	長井 隆尚	六	69
9	兵	中村 古	五	75	×	奈	西尾 勝彦	六	74

第2試合場

番号	府県	氏名	段位	年齢	試合結果	府県	氏名	段位	年齢
1	兵	磯田 和伸	五	34	○	滋	真下 盛吉	五	36
2	奈	平野 大亮	五	40	×	京	竹村 尚記	五	41
3	兵	佐伯 高志	四	41	×	滋	下川 智史	参	41
4	奈	長田 庄玄	四	42	○有	滋	橋爪 宏治	四	42
5	兵	大角 康之	六	46	×	奈	石津 佳和	五	46
6	兵	坊 晃	五	48	×	和	児島 隆順	四	47
7	兵	雑賀 昌盛	七	63	×	奈	田房 豊彦	七	70
8	兵	磯田 實	七	67	×	京	岡島 順	六	68

年代別選手権大会(兼日整全国大会予選)

20歳代



30歳代

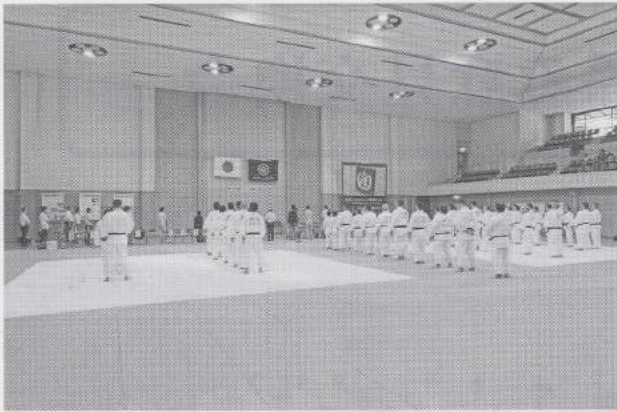


40歳代



50歳代





開会式 会場風景



湊谷知幹選手の選手宣誓

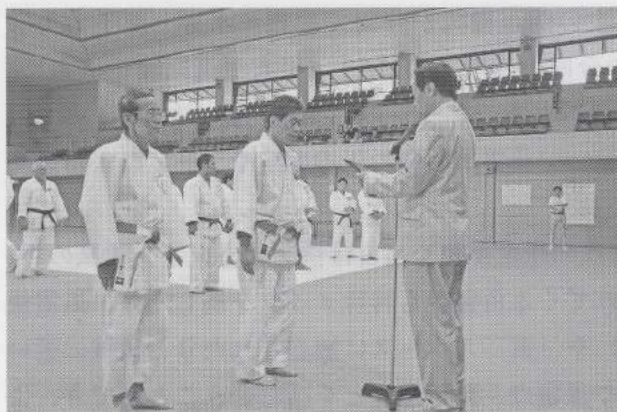


京都選手団

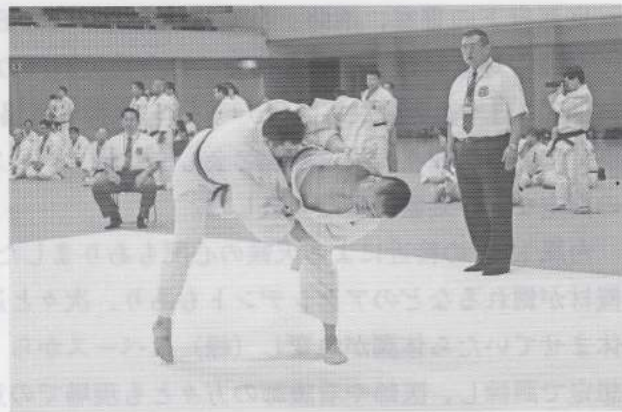


今井遼河選手 渡邊晴仁選手
(おとくに柔道クラブ)

第10回全国プロレス選手権大会



古式の形演武 表彰
近藤桂市七段 (右) 長井隆尚六段 (左)



竹村尚記選手の内股

機能訓練指導に係る意見交換会

平成 28 年 7 月 23 日(土)午後 4 時から
京都府柔道整復師会館 3 階中会議室にて
機能訓練指導に係る意見交換会が行われ
ました。

本会は京都市社会福祉協議会が運営す
る 6 か所のデイサービスセンターに会員
を機能訓練指導員として派遣していま
す。意見交換会は京都市社会福祉協議会
本部、6 か所のデイサービスセンター施
設長、本会執行部・事業部、派遣柔道整
復師各施設の代表者が集まり、日々の業
務の連携、サービス向上のために行われ
ています。



始めに長尾淳彦会長が開会の挨拶を行ない、中村英弘事業部長が意見交換会の概要を説明しました。

引き続き、岡田達也事業副部長から出席者が順次紹介され、各施設における勤務柔道整復師とのミーティングについて、機能訓練実施時におけるリスクマネジメントについて、各種問題点及び改善すべき点について協議されました。

最後に柴田宗宣副会長が閉会の挨拶を行ない、意見交換会は終了しました。

京都府総合防災訓練に参加して

救急救護隊 兼 田 旭 紘

平成 28 年 9 月 4 日(日)に南丹市園部町で行われた京都府総合防災訓練に参加してきました。

京都府下の警察、消防、自衛隊、病院、など 60 以上の関連機関が合同で地震・水害・原子力災害における対策訓練を行いました。総合防災訓練の中の合同救護所で DMAT (災害派遣医療チーム)、JMAT (日本医師会災害医療チーム)、京都看護協会と共に、トリアージ 赤(重症)黄(中等度)緑(軽傷)に分かれ我々、柔道整復師会も主に緑スペースにおいて負傷者の傷の圧迫固定やシーネによる患部の固定などの処置に当たりました。

台風 13 号の接近による天候の心配もありましたが台風の色が遅く当日は快晴で炎天下、強風の中、機材が倒れるなどのアクシデントもあり、次々と運ばれてくる負傷者も特殊メイクを施したり、処置後休ませていたら体調が急変し(緑)スペースから(赤)や(黄)スペースに搬送されたりと実践に近い想定で訓練し、医師や看護師の方々とも現場での意見や課題点、問題点などを話し合うことができ、より良い訓練ができたと感じました。

救急 災害時の大古
(土) 園部町園部 (土) 園部町園部

救護活動報告

夏季京都府柔道整復師・養成学校 特別昇段審査会

第一分隊 安田 優二

平成28年7月3日(日)午後1時より本会会館、柔道場において標記の審査会が行われました。事前要請を受けて第一分隊、中村賢治、安田優二の2名が救護に当たりました。前半では救護するようなくも観戦していましたが、後半では選手の疲労もあってか母指CM関節損傷、膝関節捻挫、頸部捻挫の負傷者があり、応急処置を施しました。当日は昇段がかかった試合ということもあり、選手の気迫が感じられる雰囲気でした。



審査会風景



待機する中村賢治隊員

救護活動報告

亀岡市柔道連盟昇段審査会 第65回亀岡市平和祭市民柔道大会

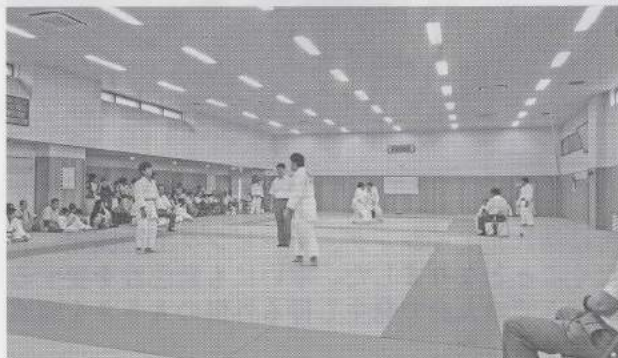
第四分隊 服部 博幸

平成28年7月17日(日)京都学園大学武道館にて、亀岡市柔道連盟主催の昇段審査会および第65回亀岡市平和祭市民柔道大会が開催され、井爪英人隊員とともに救急救護隊活動に従事してまいりました。

当日10時から昇段審査会があり、22名の昇段審査が行われました。6名の昇段が認められ、12時過ぎ無事、負傷者なく終了しました。

午後1時から市民柔道大会が開催され、小学低学年から一般の方まで約100名の参加があり、個人戦・団体戦で熱戦が繰り返されました。当日朝は涼しかったものの、昼前より急激に気温が上昇し、熱中症の発生を危惧しましたが、京都学園大学の配慮もあり、空調を効かせた環境下での試合となったため、熱中症の発症もなく、軽症2名の負傷者がでるだけで、午後5時、無事に大会は終了しました。

参加者も年々増えているようで、当日の負傷ではないが参加者や父兄から傷害に対する相談を受けることもあり、こういった現場は我々柔道整復師の存在を知ってもらいたい機会であり、来年も参加しようと各会員で誓い合った1日でした。



救護活動報告

第63回京都市ソフトボール大会 第26回京都市壮年ソフトボール大会

第一分隊 大西裕二

平成28年7月24日(日)左京区岩倉東公園グランドにて、第63回京都市ソフトボール大会・第26回京都市壮年ソフトボール大会が開催され、本会救急救護隊第一分隊より熊本喜久雄隊員、大西裕二隊員が派遣されました。

快晴の中、午前9時より市内11行政区の予選を勝ち抜いた22チームが参加し開会式が行われ、その後試合が始まりました。午前中にスライディングの際に擦り傷があるので消毒液を貸してほしいと依頼があり、看護師さんに処置をお願いしました。全試合が終わり大きな怪我もなく無事終了したと思っていた時に、審判員の方が転倒したと救護所にみえました。軽度の頸部捻挫と背部の打撲があり処置を行いました。各地域より勝ち抜いたチームだけありウォーミングアップや熱中症対策もしっかりできていたと思います。

この大会で勝ち残ったチームは秋のスポーツフェスティバルで準決勝、決勝戦が行われます。健闘をお祈りします。



会場風景



救護所

救護活動報告

平成28年度 第42回近畿ブロック柔道大会

第二分隊 岡村優輝

平成28年7月31日(日)京都市武道センターにて近畿ブロック柔道大会が開催されました。10時から大会が開催され小学生の演武から始まりました。奈良、和歌山、京都の小学生代表者が手技、腰技、足技の形を見事に演武していました。最高齢75歳の紅白戦では、年齢を感じさせない見事な試合運びとなり、京都大学大学院より河野仁医師も救護にご協力下さり、3名の救護体制で大会の行く末を末席より観覧しておりました。試合中の鼻出血者一名、試合終了後に左ハムストリングスの肉離れ1名、足関節捻挫2名、左小趾MP関節捻挫1名、右踵骨隆起剥離骨折の疑い1名が救護所に訪れ、アイシング、テーピングでの固定、レントゲン撮影の指示と病院への受診を指導させていただくこととなりました。幸いにも緊急性を要する事例はありませんでしたが、今回の大会を通じて改めて成人での大会で発生し得る外傷の大きさを痛感し、また日々の修練と応急救護の重要性を感じる1日となりました。



救護活動報告

第52回京都市バレーボール祭

第三分隊 松本吉弘

平成28年8月28日(日)ハンナリーズアリーナ及び市民スポーツ会館において、第28回市民スポーツフェスティバル 第52回京都市バレーボール祭が開催されました。

救急救護隊第三分隊より戸川和孝隊員と私が救護班として参加しました。

幸いなことに今大会は比較的涼しく熱中症の方も無く、負傷者はプレー中に選手同志が激しく接触し、腰部を負傷された方1名のみで無事救護活動を終えることができました。



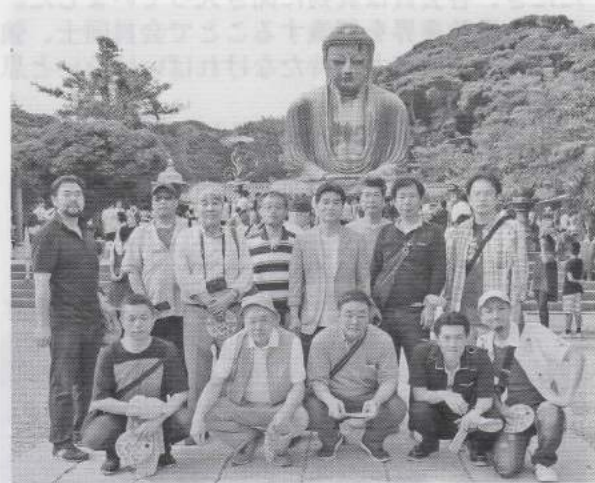
支部だより

北丹支部 研修旅行報告

通信員 有留孝信

平成28年6月11日(土)～12日(日)、北丹支部研修旅行で鎌倉、横浜へ行ってきました(参加人数14名)。初日はバス、新幹線を乗り継ぎ正午過ぎに鎌倉へ到着。天気にも恵まれ、鶴岡八幡宮、長谷寺を散策し、鎌倉の大仏を見てきました。バスで移動し横浜のホテルへチェックインした後は、中華街で中華のコースを堪能しました。中華街には中国式マッサージ店や足つぼサロンなども多く、研修の一環として、それぞれ好きな店舗へ患者として訪問するプランも用意されました。2日目は横浜みなとみらいを自由に散策。ランドマークタワーや赤レンガ倉庫など、見どころ満載のエリアで、同じ港町の北丹地域とは似て非なるものでした。帰りも新幹線とバスを乗り継いだわけですが、その道中、村上由一支部長より自賠責保険の施術証明書・施術費明細書に係る審査規定や互助会規則の改正等の説明、会館移転の話、保険提出書類の精査等の話があり、各会員からも活発

に意見交流がなされました。この研修旅行で北丹支部員のより一層の結束と親睦が深まり、私にとって、とても有意義な2日間の研修旅行となりました。



支部だより

下京・南支部総会

通信員 金 錫 奎

平成 28 年 6 月 18 日(土)午後 5 時より本会会館近くの「はり清」において、下京・南支部総会が行われました。保家幸生支部長の進行で始まり、最初に森島康之会計による会計報告、続いて佐藤隆信監事による監査報告がありました。次に、昨年に開業された住田卓也会員、今年に開業された吉舎定良会員が紹介されました。

議題では「我々柔道整復師が如何にして地域

貢献を行えるか?」について議論しました。①区民運動会②地域バレーボール大会などに積極的に救護員として出向き、参加者の身体ケアを行おうという意見があり、そのことについて議論されました。

次に本会 林 啓史副会長によって保険講習会が行われ、最近の保険情勢についてご教示いただきました。その後、同場所にて楽しい宴が行われました。



保家幸生支部長挨拶



総会風景

支部だより

西山会開催

通信員 久 保 井 康 二

平成 28 年 7 月 16 日(土)午後 5 時 30 分より京都ホテルオークラにおいて、西山会の研修会・懇親会が開催されました。研修会では、最近の柔整業界動向を長尾淳彦会長にお話していただき、各会員は真剣に聞き入っていました。現在の柔整業界を認識することで会員同士、強い団結力と結束力を持たなければいけないと思いました。

午後 6 時 30 分より藤野勝弘会員のご挨拶・

菅野泰二郎会員のご乾杯のご発声により懇親会が始まりました。いろいろな料理を楽しみながら各会員は、情報交換や意見交換をされていました。終始、和やかな雰囲気での懇親会は午後 8 時 30 分、山村政男会員のご挨拶で閉会となりました。

ご多忙でご参加できなかった先生方も、次回ぜひご参加して頂けることを希望します。



支部だより

中丹会新旧支部長慰労会・歓迎会

通信員 山根文彦

平成28年5月7日(土)福知山市地中海料理レストラン「ソレイユ」さんにて、中丹会新旧支部長慰労会・歓迎会を行いました。

まず、2年間お世話になりました織田剛旧支部長の退任の挨拶から始まり、これから2年間お世話になります白波瀬裕也新支部長の挨拶が

続きました。その後、料理を食べながら親睦を深めたり、早速、今年の支部行事の打ち合わせも行われました。織田剛先生2年間支部長お疲れさまでした。

また、白波瀬裕也新支部長の元、中丹会は結束して頑張っていきます。



新旧支部長慰労会・歓迎会



退任挨拶をする織田剛旧支部長



就任挨拶をする
白波瀬裕也新支部長

支部だより

北、上、左京支部 合同支部会

通信員 田鍋雅裕

平成28年9月10日午後6時より、ウエスティン都ホテル京都にて北支部、上京支部、左京支部の合同支部会を開催しました。

33名の会員が集まり各支部に分かれまして、近況報告や会員静動の報告、会計報告が支部長より行われました。

その後、本会から来賓として長尾淳彦会長に

お越しいただき、料金改定などについて公演頂きました。

懇親会は6時30分から始まり、和気藹藹と団欒いたしまして終了予定定刻に閉幕となりました。三支部の会員の団結がより深くなり、有意義な時間で親睦を深められたと感じます。

次の支部会もたくさんの御参加を願います。



会員の動静

ひるがき支

新入会員紹介

田村 周三 (中京支部)
 (9月入会) たむら整骨院
 〒604-8493
 京都市中京区西ノ京南岡町119
 Tel・Fax: 075-406-0320

矢藤 崇 (東山・山科支部)
 (9月入会) やとう鍼灸整骨院
 〒607-8161
 京都市山科区柳辻
 中在家町21-23 1F
 Tel・Fax: 075-584-1112



正会員→賛助会員

7月 平川 憲秀 (下京南支部)
 8月 水野 高明 (宇治支部)

退会

7月 岡田 修司 (東山山科支部)
 7月 林 宏和 (伏見支部)

掲示板コーナー

京柔整カレンダー

		柔整関係	京都の行事
11月	3日(火・祝)	第28回市民スポーツフェスティバル (西京極競技場)	
	13日(日)	第67回京都接骨学会・保険講習会	
	19日(土)~20日(日)	第25回日本柔道整復接骨医学会学術大会 (仙台国際センター)	
12月	18日(日)	京都府医療従事者の資質向上研修 (舞鶴)	
	21日(水)		終い弘法 (東寺)
	25日(日)		終い天神 (北野天満宮)
	29日(木)~1月3日(火)	会館休館日	
1月	8日(日)~12日(水)		十日ゑびす大祭 京都ゑびす神社
2月	19日(日)	京都府医療従事者の資質向上研修 (京都テルサ)	

編集後記

- 平成28年9月16日(金)の厚労省のホームページにアップされた柔道整復師学校養成施設カリキュラム等改善検討会(第5回)資料をみると、追加カリキュラムに「高齢者の外傷予防、競技者の外傷予防」の項目がありました。外傷予防も業務範囲になれば、我々の活躍の場は増えます。すでに資格を持っている我々は京都府・京都市から補助金、助成金を受けての各講習会を受講し、活躍の場を増やしていく必要があると思います。参加していただきますようお願いいたします。養成校カリキュラム等の改善、補助金、助成金を受けての講習会受講が業務範囲拡大に向けての第一歩になることを期待しています。 森田康裕
- 気付けばもう、秋ですね。あつという間に夏が過ぎ去って行く感じです。ここの会館ともあと少しでお別れかと思うと少し寂しい気持ちもありますが皆様はいかがでしょう?さて、これからは食べる物が美味しくなってくるので食べ過ぎには気を付けて行きたいところです。我々の業務は体力仕事だけに体調管理はしっかりと行っていきましょう!お金も大事ですが健康はもっと大事ですので、日頃から気を付けたいものです。 しんじ
- RIOオリンピック・パラリンピックも終わり、いよいよ次は東京ですね。その時には京都にもたくさんの方がお見えになることでしょうか、何らかの形で日本古来の柔道整復術、また柔道整復師をアピールできればと思います。さて、今回が現会館で行う最後の編集作業となりました。いろいろ思い出の詰まったこの地から離れるのは寂しい限りですが、新事務所でも、今までと同様、一人でも多くの方に目を通していただけるよう部長を先頭により良い紙面作りを務めてまいります。今後ともご協力のほど、よろしくお願い致します。 hatabou
- この号が出るのは暑かった夏も終わり、秋も深まりつつある時期である。なんと1年は早いだろう。年々あきらめのような達観した部分と焦りのような思いも確にある。生に目的があるとすれば、自分はこの生の目的を達成しつつあるのだろうか?答えの出ない自問自答はともかくとして、もうすぐ大和大路五条の会館は手放される。何回この会館に通ったことだろう。色んな経路で通った。五条通りを東に歩いて河原町を超え、五条大橋から比叡山を眺める。そして東山連峰の一部分のぼっこりとご神体のような山を眺めながら会館へ入る。当会はこの地に守られてきたのだとふと思う。会館とこの地に感謝、感謝である。 Yuji
- 今年度の補助金事業が11月13日の京都接骨学会から始まります。長尾淳彦会長からの説明が、今回の広報誌特集に掲載されています。本会会員として柔道整復師として業務拡大の活路を切り開くためにも、一致団結して後世に伝えるべき事業と感じています。執行部の一員として、皆さんのご理解をもって、知り合いの柔道整復師にも参加を勧めて頂ければ幸いです。よろしくお願いします。さて、本文に掲載させていただきました「京都府柔道整復師会会館を思い」。移転に付き本会館には色々と思いが有ります。青年部で10年、学術部で2年、広報部員として20年余り会務をさせて頂き、何度か会館に足を運んだことでしょうか。お読みいただければ幸いです。 ☆nakatoshi☆

次号 しめ切り 11月26日

京柔整会報 機関誌 141号

平成28年10月20日

発行者 公益社団法人 京都府柔道整復師会
会長 長尾 淳彦
編集責任者 広報部 中川 稔 貴
発行所 京都市東山区大和大路五条下ル東入芳野町79の2
☎ 京都(075)541-4500
(広報部)

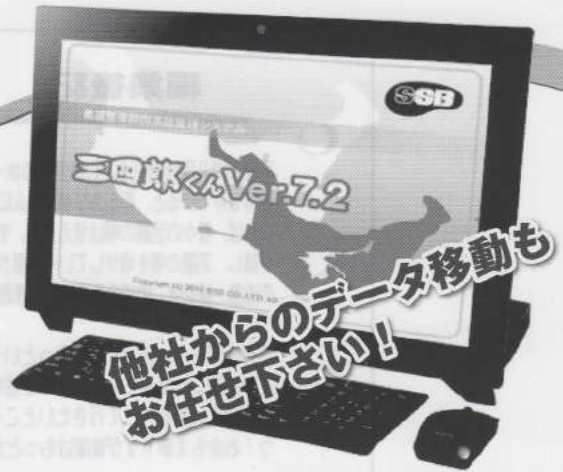
印刷所 奥原印刷紙行
京都市西京区松室北河原町205
TEL.(075)381-5611
FAX.(075)392-0111

洗練されたインターフェイスと使い易い操作性。

柔道整復師向 事務管理システム

三四郎くんVer.7.2

療養費改正等の保険改正にすばやく対応。
迅速サポートでご好評を頂いている『三四郎くん』は、
常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。

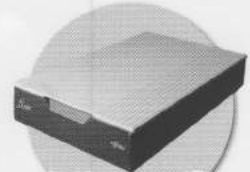


※一部ご希望に添えない場合があります。



保険証入力画面▲
傷病通院入力画面▶

オプションで
さらに便利!



保険証リーダー



サーマルプリンタ



バーコードシステム

超音波画像観察装置 ラインナップ

骨・軟骨・筋・腱・靭帯などがリアルタイムに観察できます。



Viamo Limited Edition

医療機器認証番号:
第 226ABBZX00136000 号
販売元: 東芝メディカルシステムズ株式会社



HS-2200

医療機器認証番号:
第 225AHBZX00034 号
製造販売元: 本多電子株式会社



ARIETTA Prologue SE

医療機器認証番号:
第 227ABBZX00109000 号
製造販売元: 株式会社日立製作所

その他、様々な機種を取り揃えております。

SSB 株式会社 エス・エス・ビー

Web | <http://www.sanshiro-net.co.jp>

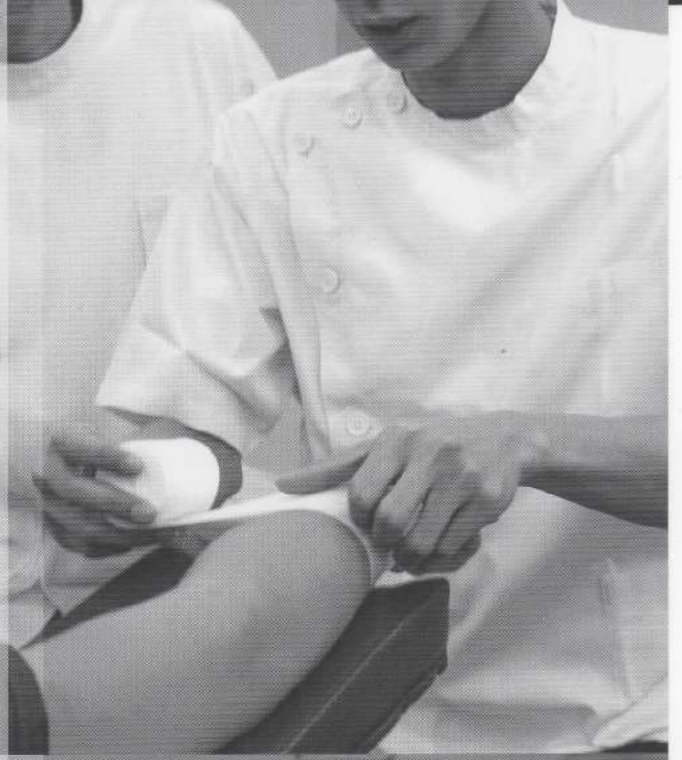
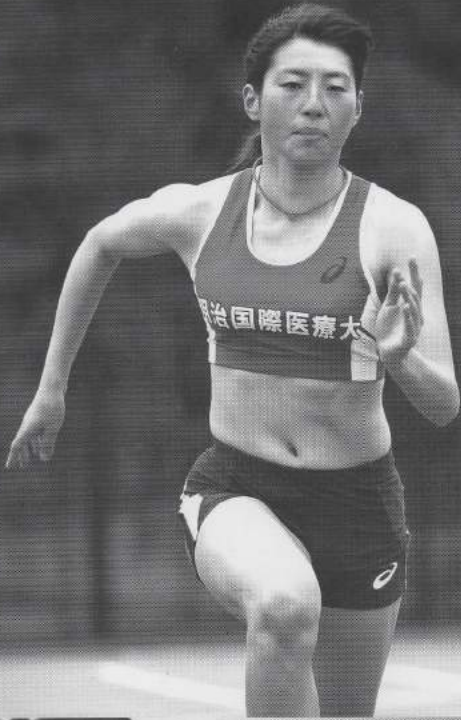
詳しくはこちら

関西
営業所

〒532-0011
大阪市淀川区西中島4-13-24 花原第3ビル405号
TEL.06-6390-3462 / FAX.06-6390-3463

最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース
▶▶ <http://www.jusei-news.com/>





スポーツ × 医療



2017年4月
保健医療学部
「救急救命学科」
開設

～部活のチカラを未来につなぐ場所～

◎中学・高校保健体育 一種免許状取得可能 ※星槎大学との協定による

◎Wスクールでの鍼灸師、柔道整復師のWライセンス取得

トップアスリート、スポーツメディカリストを目指す
明治国際医療大学

〒629-0392 京都府南丹市日吉町
TEL 0771-72-1188(入試事務室) FAX 0771-72-1189
URL <http://www.meiji-u.ac.jp>



受験生のためのポータルサイト
「GOGO受験生」にアクセス

誰かの支えになる喜び、アスリートを支える医療人へ
明治東洋医学院専門学校

〒564-0034 大阪府吹田市西御旅町 7-53
TEL 06-6381-3811 FAX 06-6381-3800
URL <http://www.meiji-s.ac.jp>



オープンキャンパスの
お申込みはコチラ!!

鍼灸学部
鍼灸学科
目指す資格
はり師・きゅう師(国家資格)
■アスレティックトレーナー(JATAC)
■健康運動実践指導者
■スポーツプログラマー

保健医療学部
柔道整復学科
目指す資格
柔道整復師(国家資格)
■アスレティックトレーナー(JATAC)
■健康運動実践指導者
■スポーツプログラマー
■ジュニアスポーツ指導員

看護学部
看護学科
目指す資格
看護師・保健師・助産師(国家資格)
■アロマセラピスト
■実務教諭二種免許
■第一種衛生管理者免許

鍼灸学科 [医療専門課程3年制]
目指す資格
はり師・きゅう師(国家資格)
■アスレティックトレーナー(JATAC)
■スポーツアロマトレーナー(JSTA)
■アロマコーディネーター(JAA) etc.

柔整学科 [医療専門課程3年制]
目指す資格
柔道整復師(国家資格)
■アスレティックトレーナー(JATAC)
■スポーツアロマトレーナー(JSTA)
■アロマコーディネーター(JAA) etc.

